インターカルト日本語学校　日本語教員養成研究所　主催

第12回研究発表会

この研究発表会は、日本語教育界各方面で活躍する当研究所の養成講座修了生や、その修了生の指導にあたった教員養成の教師が集い、日ごろの教育実践や研究を発表する場です。同時に、その教育実践や研究を当研究所関係者以外の方々とも共有し、共に考え、勉強し合う相互向上の場です。どなたでもご参加になれますので、是非、お越しください。

総合テーマ　「日本語教育の未来を見つめて」

●基調講演 「21世紀の日本語教育　21世紀型スキル・e-learning等のキーワードから考える」

講師：　篠﨑大司（別府大学文学部国際言語・文化学科兼日本語教育研究センター准教授）

●研究発表　「日本語能力試験　新傾向問題の分析と対策～N1・N2文法～」

大村礼子　インターカルト日本語学校非常勤講師（1984年短期コース修了生）
神本令子　インターカルト日本語学校専任講師（1987年10月期修了生）

●教育現場からの報告

①「生活者としての外国人が求めていることに対して日本語学校で何ができるか～文化庁委託事業『地域の日本語教室』の現場から～」

田栗春菜　インターカルト日本語学校専任講師（2011 年 4 月期修了生）

②「特別企画　 3．11被災地ボランティアをしている学生へのインタビュー」

黄　可為　インターカルト日本語学校　J10aクラス在校生
萩原秀樹　インターカルト日本語学校専任講師（1989 年 4 月期修了生）

【日　時】 3月29日（土）　開場 13:00 開会 13:30 終了予定 16:45

◆受付は 13:00 から 13:25 までにお済ませ下さい

【場　所】 東京都立産業貿易センター　浜松町館　第3・4会議室

◆アクセスは裏面をご覧ください

【定　員】80人

【費　用】1,000 円

【申し込み方法】①氏名　②性別　③住所（〒）④電話番号　⑤修了生の方は入学年月　⑥職業
⑦この研究発表会をお知りになった媒体、以上7点を明記のうえ、お申し込みください。

-メール：yosei@incul.com　-電話：03-5816-4643　-Fax：03-5816-4644

【問合せ先】〒110-0016　台東区台東2-20-9
インターカルト日本語学校　日本語教員養成研究所　教務
[URL] http://www.incul.com 〔TEL〕03-5816-4643 〔Fax〕03-5816-4644

【基調講演　講師紹介】

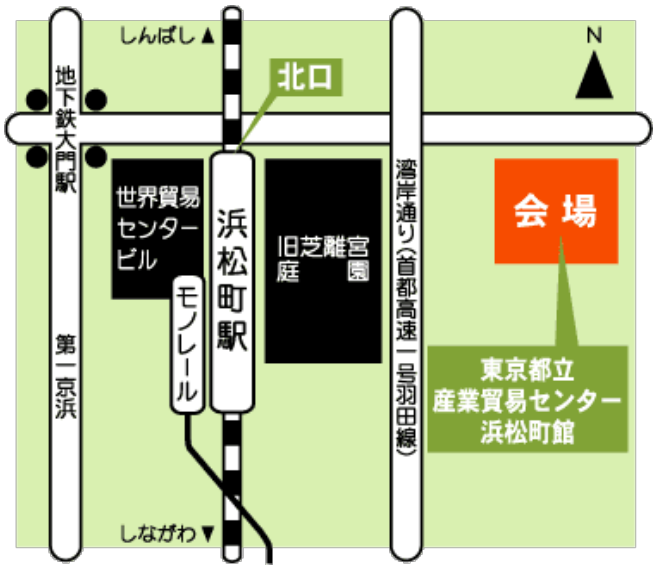
題目：「21 世紀の日本語教育　21 世紀型スキル・ｅ-learning 等のキーワードから考える」
講師：篠崎大司（別府大学文学部国際言語・文化学科兼日本語教育研究センター准教授）

＜プロフィール＞
1971 年愛媛県出身。東北大学教育学部卒、広島大学大学院日本語教育学研究科（教育学修士）修了。日本語学校専任講師を経て、現職。専門は日本語教育学、特に e ラーニング、ブレンディッドラーニング（e ラーニングと対面式授業を融合した授業スタイル）による授業実践研究。大学では、留学生に対する上級日本語科目、日本語教員養成科目では日本語教育概論、教材論、実習指導等を担当。主な著書に『日本語教育能力検定試験合格するための用語集』（アルク）、『日本総論Ⅰ-日常生活と日本の輪郭』（クリエイツ）。その他、『日本語教育ジャーナル』、『日本語教育能力検定試験合格するための本』（共にアルク）など、連載多数。

現在は、日本語教育能力検定試験対策のためのメールマガジン『篠研の日本語教育能力検定試験対策』を週３回配信。受講生の目線に立った分かりやすい解説、最新の統計データや最先端の指導理論など充実した講義内容、質問メールに対する丁寧な対応が「この価格で、ここまでの内容を提供してもらえるものは他にない」と、多くの受講者から絶大な支持を得る。
「日本語教育を通じて成長する喜びを共有、継続的な人材育成で国際社会に貢献する。」を信条に日々奔走中。

＜講師より＞
本講演では、「21 世紀型スキル」「e ラーニング」というキーワードから、ICT 技術を取り入れた日本語の授業スタイルについてわかりやすく解説します。また、e ラーニングコンテンツを作る基本的な手順についてもご説明します。

【会場へのアクセス】.
東京都立産業貿易センター　浜松町館　第３・４会議室
住所：東京都港区海岸 1-7-8　TEL：03-3434-4242



≪交通手段≫
〇ＪＲ 浜松町駅(北口)から 350m　徒歩 5 分
〇都営地下鉄 大門駅(浅草線 A1 出口・大江戸線 B1 または B2 出口)から 450m　徒歩 8 分
〇東京モノレール
浜松町駅(北口)から 350m　徒歩 5 分
〇ゆりかもめ(新交通)
竹芝駅から 100m　徒歩 2 分